

雇用形態パターンと賃金モデル

(1) 工務店から見た大工の雇用パターン

①社員大工

工務店の社員として正規雇用された大工で、他の社員と同様に月給、賞与、各種手当が支給され、健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険などにも加入する。作業する現場がなくても月給などは契約通り支払われる。

②常備大工

工事の出来高に関係なく、作業時間・日数に応じて賃金が支払われる。1日当たりいくら支払われるかは、技能のレベル、仕事の速さなどから決められる。健康保険、厚生年金、雇用保険は、工務店に加入義務はないが、労災保険に関しては、工務店が加入する必要がある。

労災保険の給付を受けることができる「労働者」か否かは、指揮監督関係の存否、報酬が労務に対する対価か、それとも仕事の完成に対する対価か、事業者性を有するかなど実態を考慮して判断され、常備大工は、労働者として判断される可能性が大きい。

③日給月給大工

賃金の支払われ方は常備大工と同じであるが、常備大工だけで間に合わない場合に雇用される。

④手間受け大工

手間受けは、坪当たりいくらなどの単価をもとに、その工事についての工賃を決めて請負、その工事を完成まで責任を持って施工する。複雑で手間がかかったり、工事が遅れたり、手直しなどで、予定より手間がかかっても受け取る工賃は変わらない。

労災保険は仕事の完成に対する対価なので、工務店に加入義務はないが、工務店の指揮監督のもとに働くことから、工務店が労災保険に加入すると指摘される場合もある。

全建総連の最新の調査（2013年3月）では、建設業許可が無い一人親方は、141万円/件、建設業許可ありの場合は229万円/件となっている。

またローコスト住宅の手間受けは、1戸当たり80～110万円程と言われている。

また国土交通省の平成17年度建設業構造基金調査では、「大工職人の雇用形態（賃金支払い形態）の現状」として、より細かな雇用形態を挙げている。

月払い（日給月給）	45.8%
月払い（一定額）	24.8%
月払い（一定額から休んだ日数分減額）	8.7%
月払い（一定日数以上休んだとき減額）	6.8%
月払い（出来高）	2.2%

月払い（一定額＋出来高） 1.3%

<大工職人の雇用形態（賃金支払い形態）の現状>

（単位：千円、％）

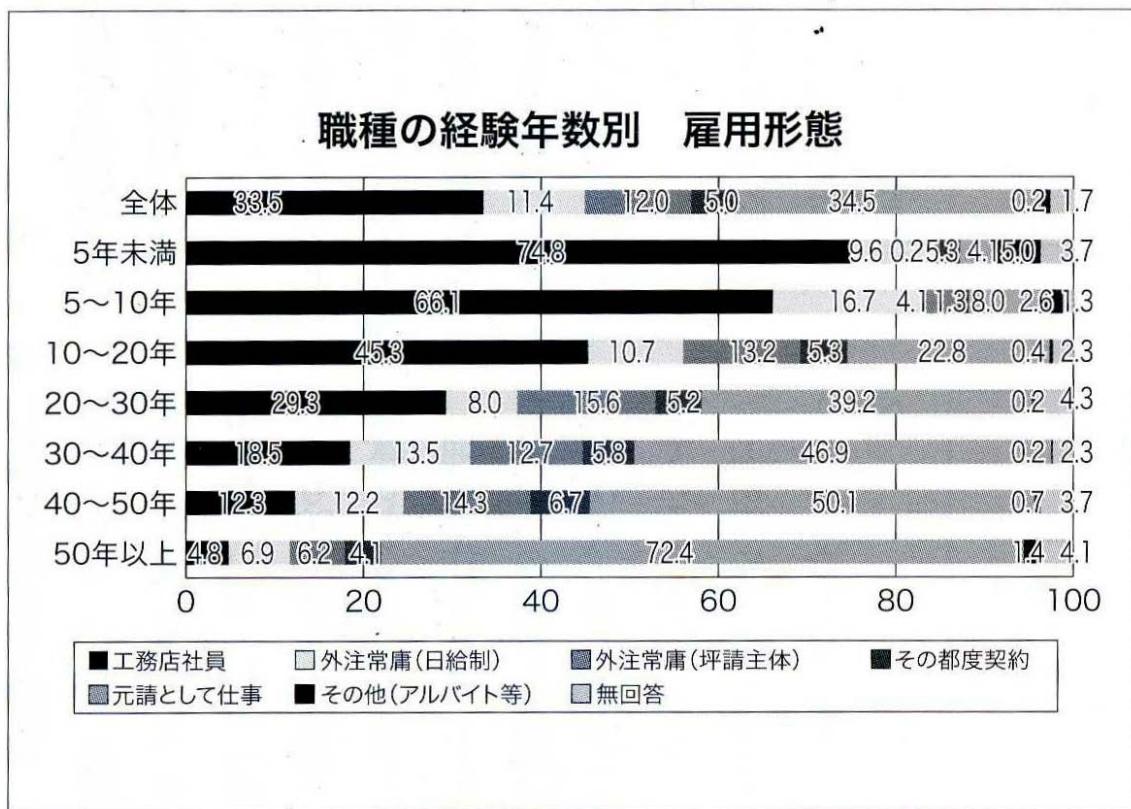
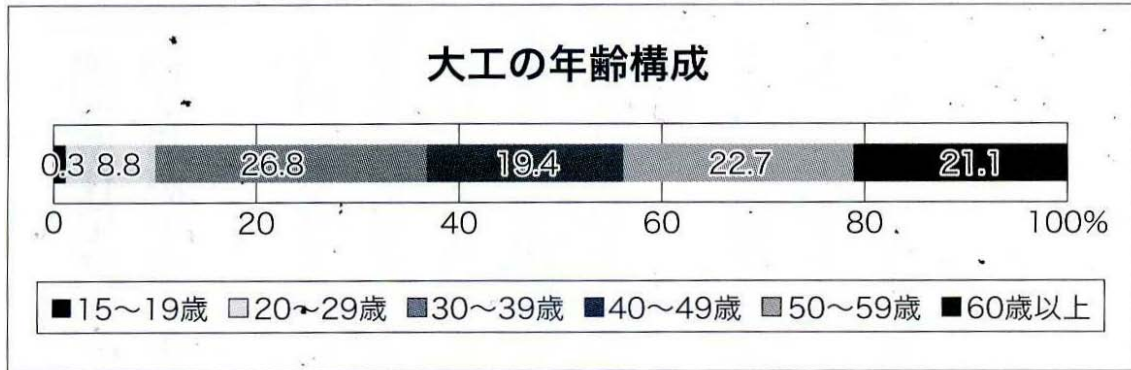
業種		一般土木建築	土木	建築	木造建築	職別	設備	合計
月払い	支払形態							
	一定額	1,306 (27.4)	11,504 (24.0)	7,013 (27.5)	2,619 (23.6)	8,978 (24.8)	13,764 (44.5)	45,184 (28.9)
	一定日数以上休んだとき減額	345 (7.2)	3,523 (7.4)	2,567 (10.1)	750 (6.8)	2,516 (7.0)	2,874 (9.3)	12,575 (8.0)
	一定額から休んだ日数分減額	283 (5.9)	2,990 (6.2)	1,972 (7.7)	972 (8.7)	3,190 (8.8)	2,953 (9.5)	12,360 (7.9)
	日給月給	2,460 (51.5)	25,529 (53.3)	11,761 (46.0)	6,204 (55.8)	16,593 (45.8)	8,981 (29.0)	71,528 (45.7)
	出来高	88 (1.8)	928 (1.9)	1,257 (4.9)	246 (2.2)	2,218 (6.1)	663 (2.1)	5,400 (3.5)
	一定額＋出来高	52 (1.1)	938 (2.0)	216 (0.8)	148 (1.3)	863 (2.4)	894 (2.9)	3,112 (2.0)
日払い (週払い)	一定額	133 (2.8)	879 (1.8)	255 (1.0)	66 (0.6)	533 (1.5)	267 (0.9)	2,132 (1.4)
	一定額から休んだ時間分減額	58 (1.2)	778 (1.6)	250 (1.0)	42 (0.4)	654 (1.8)	174 (0.6)	1,956 (1.3)
	出来高	40 (0.8)	451 (0.9)	209 (0.8)	42 (0.4)	390 (1.1)	183 (0.6)	1,315 (0.8)
	一定額＋出来高	10 (0.2)	338 (0.7)	39 (0.2)	20 (0.2)	260 (0.7)	185 (0.6)	853 (0.5)
合計		4,774 (100.0)	47,857 (100.0)	25,540 (100.0)	11,109 (100.0)	36,196 (100.0)	30,938 (100.0)	156,416 (100.0)

(注) 1. ()の数値は各合計を100とした場合の構成比
2. 未記入・無効回答企業を除く

(国土交通省 平成17年度 建設業構造基金調査より)

また 2013 年 3 月の「木を活かす建築推進協議会」の調査報告書では、大工の経験年数別の雇用パターンについて調査結果をまとめている。

これは「住宅省エネルギー技術講習会」の参加者のうち、大工職を対象にしたものである。



これによると経験年数 5 年未満の大工の 75%程が、また 5～10 年の 66%が、さらに 10～20 年でも 45%が社員大工となっている。

また日給制の常備大工は、5～10 年の 16.7%が、さらに 10 年以上では 10%程となっている。さらに坪請の常備大工は、10 年以上では 13%～15%程となっている。

いっぽう 10～20 年の 22.8%、20～30 年の 39.2%、30～50 年の 50%程が元請けとして仕事をする大工となっている。

(2) 賃金構造基本統計調査での社員大工の生涯賃金モデル

厚生労働省の賃金構造基本統計調査（平成24年）での、職種別年齢別の雇用者（雇用者10以上の企業）の賃金では、大工の平均年間総給与額は、384万8,200円となっている。

社員大工

	きま つて 支給 する 現金 給与 額	年間 賞与 その他 特別 給与 額	年間 総給 与額	15年 間 移動 平均
	314.4	75.4	3848.2	
～ 19歳	183.1	0.0	2197.2	
20～24歳	241.8	287.3	3188.9	2935.7
25～29歳	269.9	182.1	3420.9	3491.4
30～34歳	319.3	32.9	3864.5	3929.8
35～39歳	364.3	132.3	4503.9	4002.0
40～44歳	302.8	4.0	3637.6	4193.1
45～49歳	368.8	12.1	4437.7	4002.6
50～54歳	319.2	102.1	3932.5	4102.4
55～59歳	323.4	56.3	3937.1	3829.0
60～64歳	299.7	20.9	3617.3	3949.6
65～69歳	357.1	9.3	4294.5	3719.6
70歳～	269.4	14.2	3247.0	

これを社員大工の生涯賃金モデルを作成すると、

20～24歳 295万円×5年＝1,475万円

25～29歳 350万円×5年＝1,750万円

30～34歳 400万円×5年＝2,000万円

35～39歳 400万円×5年＝2,000万円

40～44歳 420万円×5年＝2,100万円

45～49歳 410万円×5年＝2,050万円

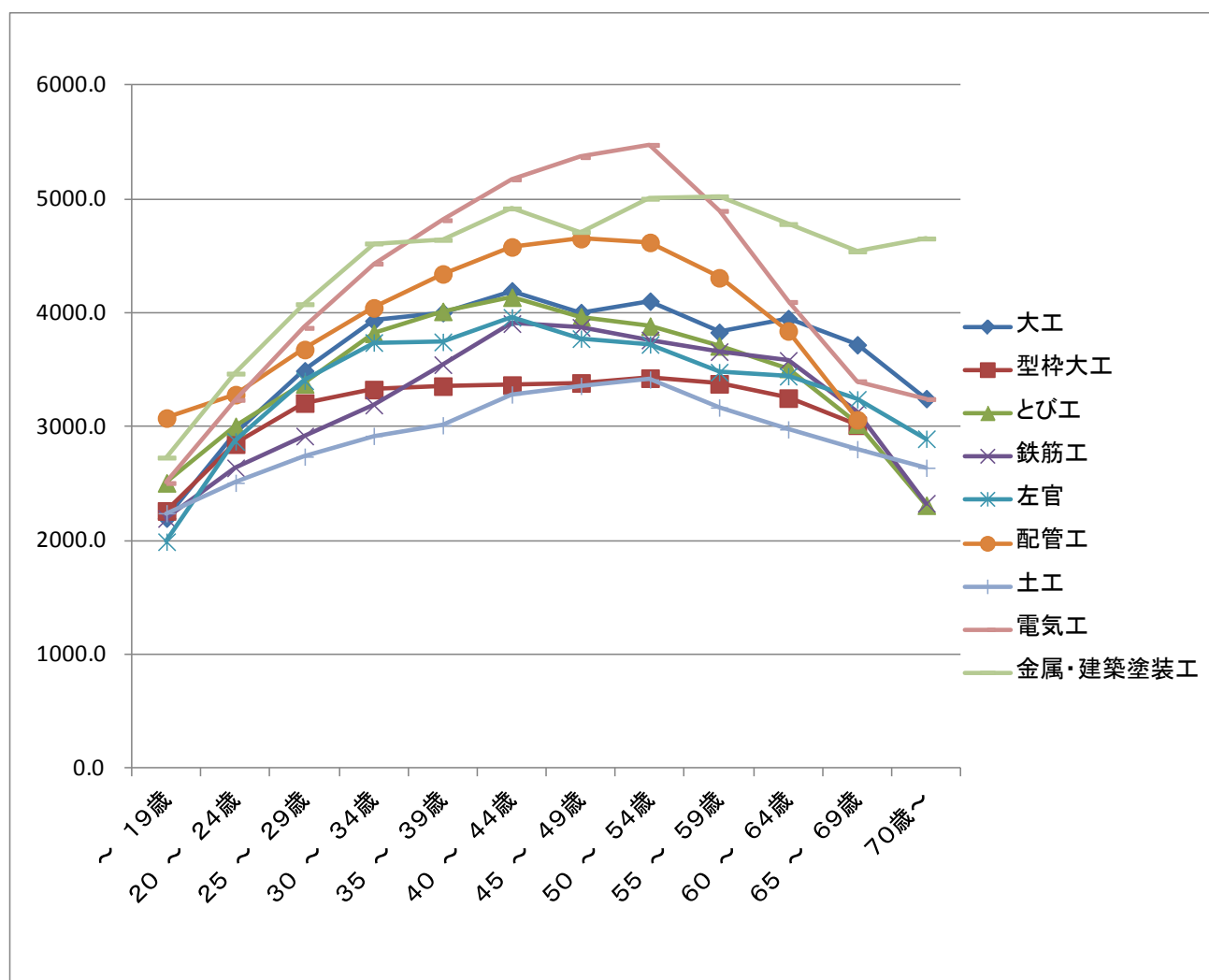
50～54歳 410万円×5年＝2,050万円

55～59歳 400万円×5年＝2,000万円

60～64歳 400万円×5年＝2,000万円

64歳まで働くとして社員大工の生涯賃金は1億7,425円となる。

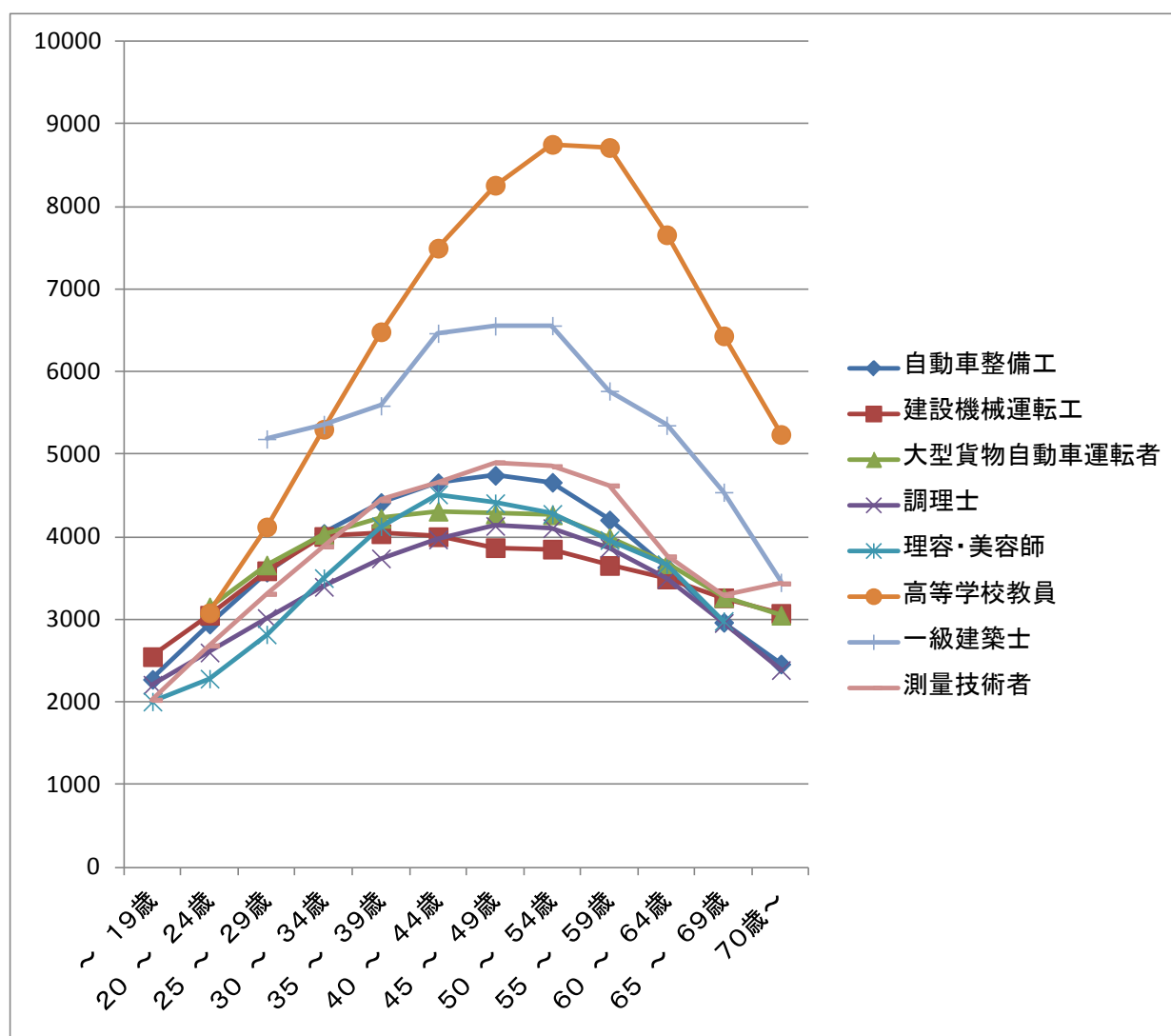
住宅建設関連の技能工の年齢別賃金は、次のようになっている。



平均年間総給与額が多い順に挙げると、次のようになる。

- 1) 金属・建築塗装工 453万2,000円
- 2) 電気工 451万6,400円
- 3) 配管工 420万1,100円
- 4) 大工 384万8,200円
- 5) とび工 371万9,900円
- 6) 鉄筋工 350万6,600円
- 7) 左官 338万1,800円
- 8) 型枠大工 334万800円
- 9) 土工 306万7,100円

住宅建設関連の技術者および他産業の技能工の年齢別賃金は、次のようになっている。



平均年間総給与額が多い順に挙げると、次のようになる。

- 1) 高等学校教員 721万2,500円
- 2) 一級建築士 582万7,400円
- 3) 測量技術者 442万6,400円
- 4) 大型貨物自動車運転者 415万3,600円
- 5) 自動車整備工 397万8,000円
- 6) 建設機械運転工 382万5,100円
- 7) 調理士 361万1,200円
- 8) 理容・美容師 291万7,300円

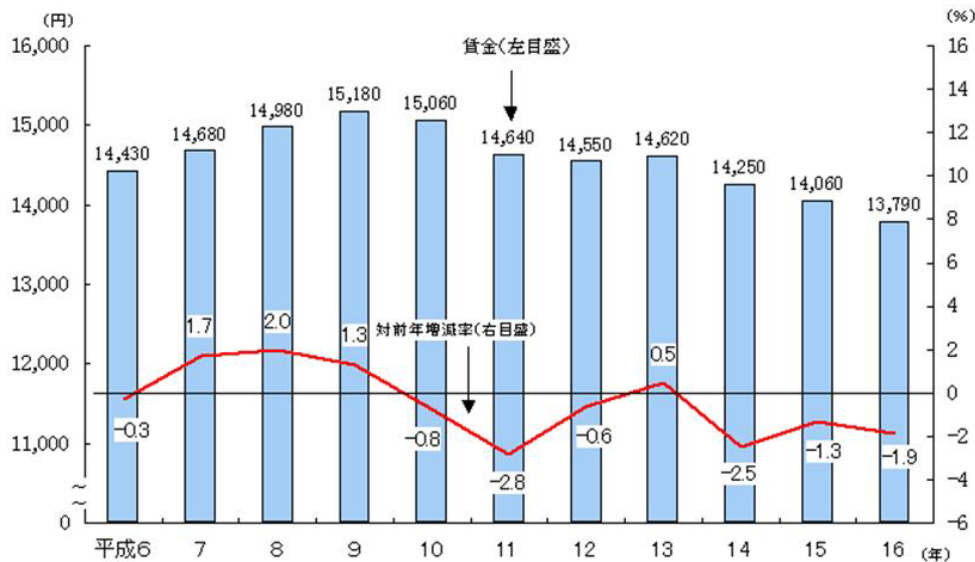
(2) 屋外労働者職種別賃金調査(建設業技能職種)

厚生労働省による「屋外労働者職種別賃金調査」は、平成16年(2004年)を最後に廃止された。調査は事業所・労働者5人以上の常用労働者を雇用する民営の事業所から都道府県、産業及び事業所規模別に一定の方法により抽出された約1万6千事業所並びに調査対象事業所に雇用される労働者のうち、土工、重作業員、軽作業員、大工、とび工、石工、左官、電気工、配管工、塗装工、貨物自動車運転者、板金工、溶接工、機械運転工、鉄筋工、鉄骨工、掘削・発破工、タイル張工・れんが積工、はつり工、型枠工、建具工、屋根ふき工、潜函土工、ボーリング工、職長、各種見習の職種に該当する労働者を調査対象とした。

建設業技能職種21職種に関しては、集計事業所数は6,914事業所、集計労働者数は57,814人であった。その内訳は、

技能職種	労働者構成(%)	技能職種	労働者構成(%)
電気工	25.1	(その他)	9.1
配管工	15.8	板金工	
機械運転工	11.1	屋根ふき工	
大工	9.9	タイル張工・れんが積工	
とび工	5.8	鉄骨工	
型枠工	4.9	建具工	
塗装工	4.3	はつり工	
貨物自動車運転者	4.2	ボーリング工	
左官	4.2	掘削・発破工	
鉄筋工	3.1	石工	
溶接工	2.6	潜函土工	

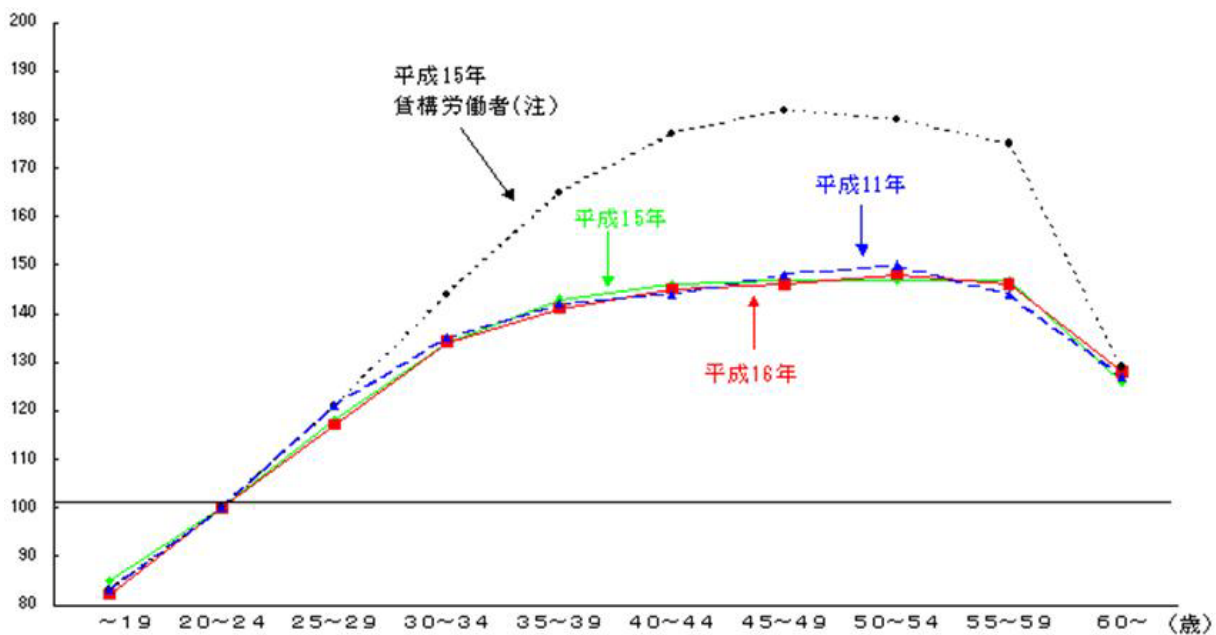
<賃金及び対前年増減率の推移(技能職種計)>



<職種別賃金、対前年増減率及び職種間格差>

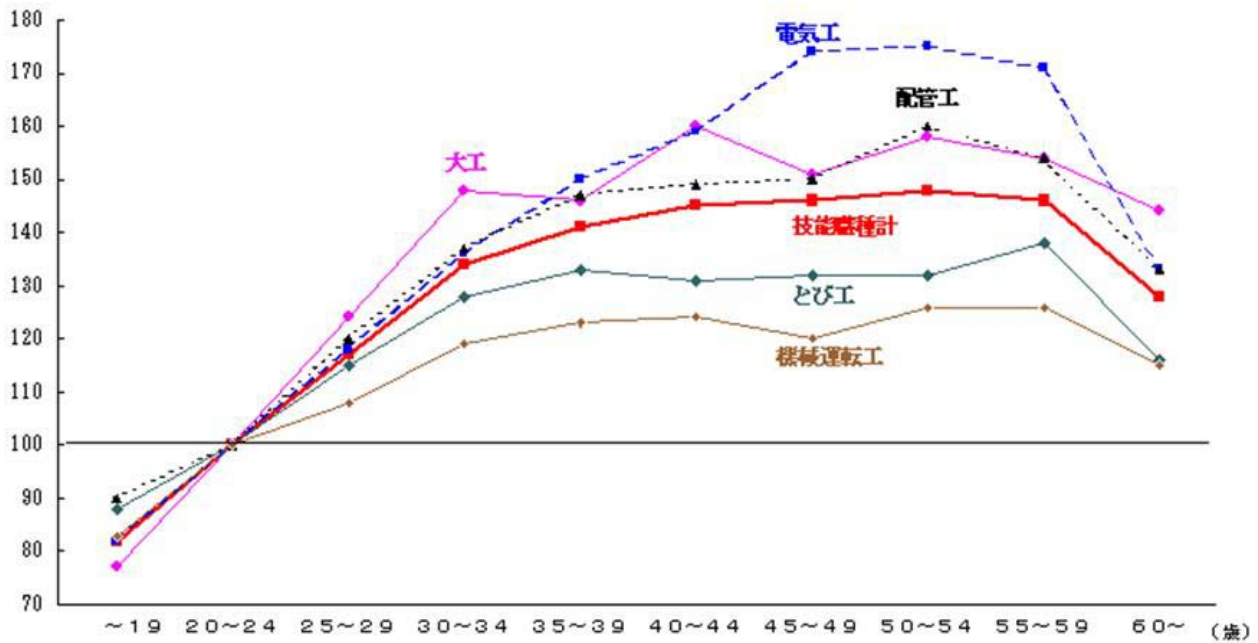
職種	賃金(円)		対前年増減率(%)		職種間格差(電気工=100)	
	平成16年	平成15年	平成16年	平成15年	平成16年	平成15年
技能職種計	13,790	14,060	-1.9	-1.3
電気工	15,300	15,580	-1.8	1.2	100	100
配管工	13,200	13,720	-3.8	-0.1	86	88
機械運転工	13,650	14,140	-3.5	-2.9	89	91
大工	13,830	13,980	-1.1	-1.9	90	90
とび工	13,520	13,230	2.2	-6.8	88	85
型枠工	12,130	12,250	-1	-4.5	79	79
塗装工	13,140	13,260	-0.9	-0.6	86	85
貨物自動車運転者	12,130	12,730	-4.7	-1.5	79	82
左官	13,520	13,680	-1.2	-0.5	88	88
鉄筋工	11,840	11,690	1.3	-4.6	77	75
溶接工	12,960	14,040	-7.7	1.4	85	90

<年齢間格差の推移(技能職種計、20~24歳=100)>

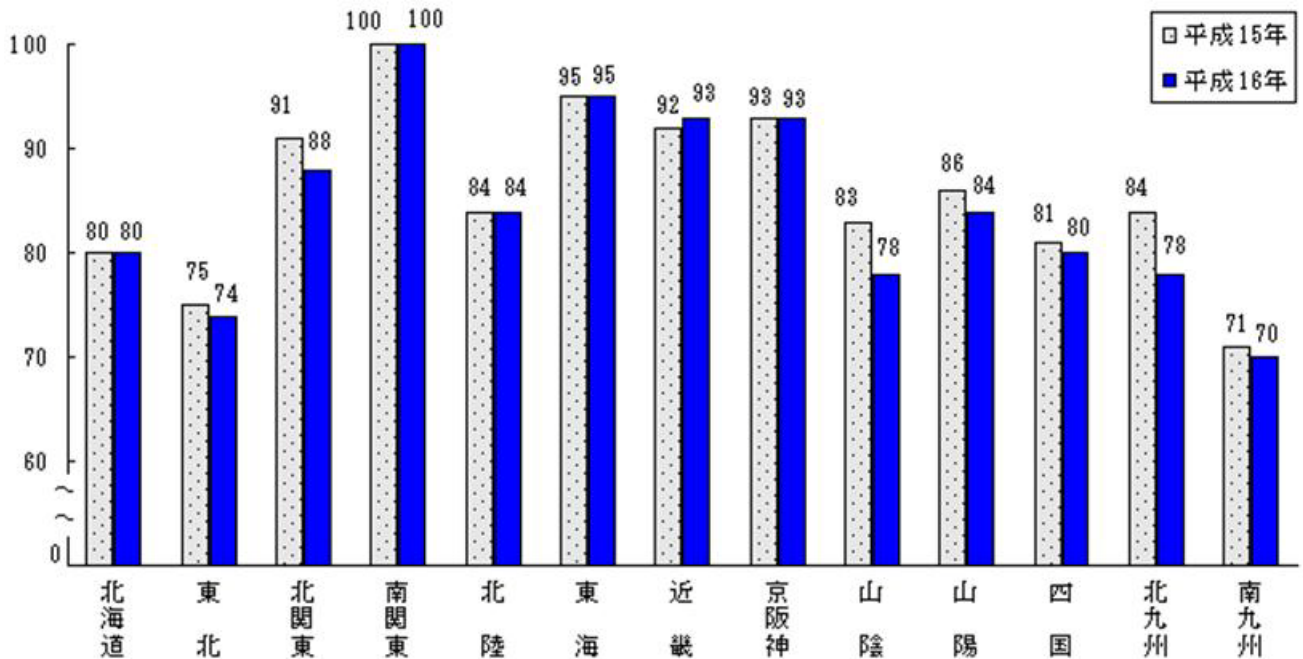


(注)「平成15年賃構労働者」は、平成15年賃金構造基本統計調査における調査産業計(民営、企業規模10人以上)労働者のきまって支給する現金給与額についての格差である。

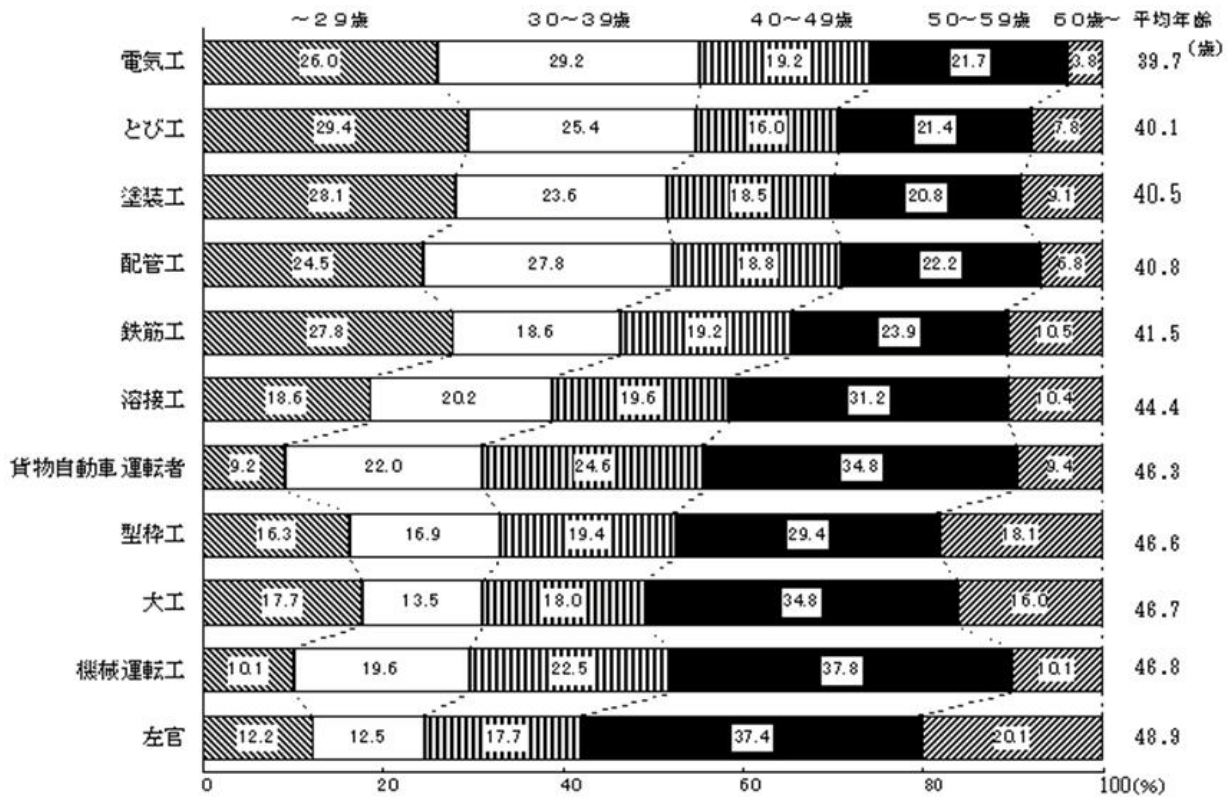
<職種別年齢間格差（20～24歳＝100）>



<地域間賃金格差（技能職種計、南関東＝100）>



<職種、年齢階級別労働者構成及び平均年齢>



(3) DODA 転職支援サービスでの生涯賃金モデル

平均年収／生涯賃金データ 2012

<http://doda.jp/guide/heikin/2012/syokusyu/data.html>

【対象者】2011年10月～2012年9月末までの間に、DODA 転職支援サービスにご登録いただいたホワイトカラー系職種の男女

【雇用形態】正社員

【サンプル数】約10万人

順位	職種分類	職種名	全体			20代		30代		40代以上	
			平均	中央値	生涯賃金	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
-	全体	全体	442	400	2億909	343	320	458	420	645	600
1	金融系専門職	投資銀行業務	986	820	4億3290	672	635	1222	950	1217	1100
2	金融系専門職	運用(ファンドマネージャー/ディーラー/アナリスト)	777	650	3億4049	453	415	801	720	1076	1000
3	企画/管理系	経営企画/事業企画	683	600	2億8077	426	400	612	600	884	800
4	営業系	MR	656	600	3億228	497	500	643	633	941	900
5	技術系(IT/通信)	ITコンサル/タレント	655	600	2億8187	459	450	639	600	860	800
6	技術系(電気/電子/機械)	セールスエンジニア/FAE	633	600	2億6179	423	400	586	580	805	750
7	技術系(IT/通信)	プロジェクトマネージャー/コンサル/タレント	630	600	2億5175	488	480	604	600	713	700
8	企画/管理系	マーケティング	629	557	2億7891	468	450	646	600	837	800
9	企画/管理系	社内SE	584	520	2億6119	411	379	562	536	819	760
10	技術系(IT/通信)	プロセスエンジニア	583	540	2億3894	400	400	543	501	723	680
11	技術系(電気/電子/機械)	先行開発/製品企画	582	550	2億4374	411	400	560	550	733	700
12	技術系(電気/電子/機械)	回路/システム設計	579	500	2億5740	409	400	536	510	815	800
13	技術系(電気/電子/機械)	バックオフィス/ミドルオフィス	565	528	2億4057	398	400	547	541	730	700
14	金融系専門職	臨床開発/治験	555	480	2億5411	415	355	548	500	789	750
15	技術系(メディカル/化学/食品)	法務	551	500	2億6179	437	443	573	550	804	800
16	企画/管理系	財務	547	500	2億3836	376	350	498	475	755	732
17	企画/管理系	営業-化学/素材メーカー	543	480	2億3192	383	350	496	450	720	665
18	営業系		536	455	2億4588	383	370	499	480	788	745

順位	職種分類	職種名	全体			20代		30代		40代以上	
			平均	中央値	生涯賃金	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
19	企画／管理系	知的財産／特許	535	500	2億3620	396	400	515	500	726	750
20	営業系	営業－機械／電機メーカー	530	450	2億4230	382	380	508	500	766	720
21	営業系	営業－医療機器メーカー	529	480	2億3652	385	372	549	506	715	650
22	技術系(IT／通信)	研究開発	528	450	2億4223	355	330	488	423	790	750
23	技術系(電気／電子／機械)	組み込み／制御設計	526	500	2億2937	385	390	534	510	687	652
24	技術系(建築／土木)	不動産企画／プロパティマネジメント	522	450	2億2245	380	350	535	500	655	600
25	企画／管理系	商品企画・開発	517	456	2億3932	388	373	531	500	737	700
26	技術系(電気／電子／機械)	エンジニアリング	504	450	2億3343	381	360	525	500	714	700
27	営業系	営業－証券販売促進	497	400	2億9260	393	360	657	600	938	815
27	企画／管理系	広告宣伝	497	450	2億2588	376	350	510	480	686	650
29	企画／管理系	リサーチ／市場調査	495	470	2億1943	385	400	504	500	653	600
30	技術系(電気／電子／機械)	設計開発	494	450	2億2391	387	380	489	480	681	650
31	企画／管理系	広報／IR	489	430	2億1703	376	370	476	450	659	600
32	技術系(電気／電子／機械)	CAE解析	488	450	2億3304	376	375	473	450	741	700
33	技術系(メディカル／化学／食品)	薬剤師	485	455	2億1948	437	440	510	523	624	642
33	クリエイティブ系	クリエイティブディレクター／アートディレクター	485	450	2億76	338	300	460	435	605	550
35	営業系	営業－IT／通信／インターネット	483	420	2億4136	369	350	517	480	764	700
36	企画／管理系	人事	482	430	2億1275	359	350	456	450	656	600
37	企画／管理系	購買	481	449	2億1025	366	350	449	430	644	600
38	営業系	営業－銀行	473	400	2億5912	393	380	644	601	777	675
39	技術系(メディカル／化学／食品)	研究開発	472	430	2億2969	362	350	491	480	722	680
40	技術系(電気／電子／機械)	品質管理／品質保証	471	420	2億218	341	320	426	420	627	600
41	技術系(建築／土木)	施工管理(ビル／マンション／商業施設)	467	420	2億1736	358	343	480	460	668	600
42	営業系	営業－総合商社	466	400	2億3204	347	330	505	450	734	600

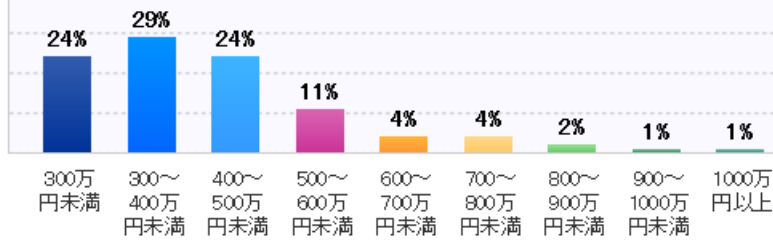
順位	職種分類	職種名	全体			20代		30代		40代以上	
			平均	中央値	生涯賃金	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
43	技術系(電気/電子/機械)	生産管理	459	400	2億497	339	330	430	400	640	585
44	クリエイティブ系	Webプロデューサー/ディレクター	458	450	2億215	393	390	470	450	580	551
45	販売/サービス系	スーパーバイザー/エリアマネージャー	456	430	1億9390	365	350	447	430	564	520
46	技術系(IT/通信)	サーバーエンジニア	454	439	2億610	380	370	481	462	600	600
47	企画/管理系	営業企画	450	400	2億530	348	329	453	400	626	600
48	技術系(建築/土木)	設計(ビル/マンション/商業施設)	445	400	1億9677	343	300	417	400	604	550
49	営業系	営業-建設/不動産	444	400	2億105	371	350	489	450	575	500
50	企画/管理系	経理	442	400	1億9525	339	320	425	400	594	548
50	企画/管理系	物流業務	442	400	2億126	337	320	422	400	627	600
52	営業系	営業-広告/メディア	441	400	2億387	378	358	482	450	589	550
52	技術系(電気/電子/機械)	生産技術	441	400	2億1119	337	320	457	450	659	650
54	営業系	営業-食品/消費財/メーカー	439	400	1億9991	346	340	463	440	595	551
54	技術系(IT/通信)	ネットワークエンジニア	439	400	2億453	367	343	468	450	605	550
54	技術系(メディカル/化学/食品)	品質管理/品質保証	439	400	2億1171	330	300	428	400	680	600
57	クリエイティブ系	工業デザイン	437	400	1億9382	339	323	455	430	572	500
58	営業系	営業-保険/施工管理(設備/内装/土木)	434	350	2億953	331	300	491	420	637	501
59	技術系(建築/土木)	施工管理(設備/内装/土木)	433	400	1億8972	352	350	447	440	549	545
60	技術系(電気/電子/機械)	サービスエンジニア	429	400	1億9058	342	320	452	430	556	509
61	技術系(IT/通信)	SE・プログラマ	427	400	1億9136	365	350	467	450	541	500
61	技術系(建築/土木)	施工管理(戸建住宅)	427	400	1億7757	345	320	448	450	491	480
63	営業系	営業-専門/商社	426	400	1億9720	347	330	459	440	583	550
63	クリエイティブ系	編集/デスク	426	400	1億9343	356	335	414	400	582	500
65	技術系(建築/土木)	設計(設備/内装/土木)	419	400	1億8334	341	340	413	400	540	500
66	営業系	営業-サービス	416	380	1億9290	331	300	449	420	575	515
66	技術系(IT/通信)	ヘルプデスク	416	400	1億8158	326	320	409	400	540	500

順位	職種分類	職種名	全体			20代		30代		40代以上	
			平均	中央値	生涯賃金	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
68	営業系	営業-小売 /外食	414	380	1億8797	320	300	440	440	560	500
68	技術系(メ ディカル/ 化学/食 品)	生産管理	414	380	1億9187	329	300	429	400	580	525
70	技術系(IT /通信)	テクニカル サポート	408	360	1億9002	329	320	404	374	584	500
71	クリエイティ ブ系	ゲーム関連	406	360	1億9343	315	300	452	430	584	540
72	技術系(建 築/土木)	設計(戸建 住宅)	399	370	1億7842	317	300	388	360	540	500
73	技術系(メ ディカル/ 化学/食 品)	製造技術/ 設備技術	392	350	2億107	327	300	414	401	635	550
74	企画/管理 系	総務/庶務	385	336	1億7658	295	288	377	350	547	500
75	クリエイティ ブ系	制作進行管 理	384	360	1億7142	320	300	397	400	499	470
76	技術系(建 築/土木)	測量/積算	381	351	1億6314	328	300	355	350	474	450
77	企画/管理 系	貿易業務	377	350	1億6970	321	300	375	370	500	450
78	クリエイティ ブ系	ファッション ・インテリ ア関連	376	350	1億7344	291	280	405	400	519	500
78	クリエイティ ブ系	イベント/ 芸能関連	376	330	1億8352	295	252	422	400	559	514
80	クリエイティ ブ系	Web編集/ コンテンツ 企画	355	320	1億7718	304	300	371	350	549	500
81	クリエイティ ブ系	映像関連	354	300	1億7151	291	273	388	371	518	500
82	事務/アシ スタント系	翻訳/通訳	353	320	1億5337	303	300	370	350	430	360
83	事務/アシ スタント系	秘書/受付	342	301	1億5328	300	286	372	356	430	401
84	販売/サー ビス系	鉄道・空 港・船舶関 連	341	311	1億8936	304	300	386	380	602	645
85	金融系専門 職	金融事務	339	300	1億7021	304	300	365	350	516	450
86	クリエイティ ブ系	Webデザイ ナー	337	301	1億4515	302	300	359	350	396	385
87	クリエイティ ブ系	グラフィック デザイナー /イラスト レーター	334	312	1億4503	285	294	363	350	401	400
88	販売/サー ビス系	店長/販売 スタッフ	333	300	1億5589	295	300	372	360	446	420
89	販売/サー ビス系	ドライバー /配送ス タッフ	324	300	1億3282	295	300	349	345	342	328
90	事務/アシ スタント系	貿易事務	322	301	1億3457	309	300	331	301	353	340
91	クリエイティ ブ系	DTPオペ レーター	318	300	1億3614	285	280	322	301	377	360
92	事務/アシ スタント系	営業事務	317	300	1億4282	294	300	336	320	399	360
93	事務/アシ スタント系	オペレー ター	308	300	1億3796	279	270	327	300	387	300
94	事務/アシ スタント系	一般事務	300	290	1億3138	281	280	308	300	362	310

設計(戸建住宅)

平均年収	順位	中央値	生涯賃金
399 万円	72 位/100職種中	370 万円	1億7842 万円

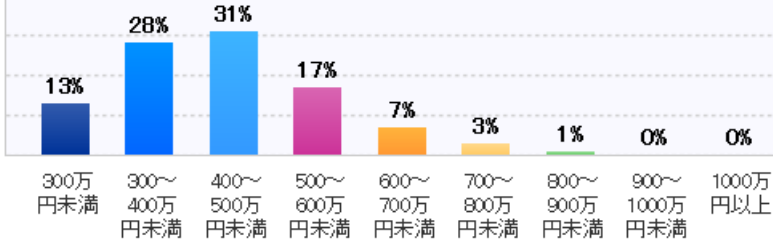
年収分布図



施工管理(戸建住宅)

平均年収	順位	中央値	生涯賃金
427 万円	61 位/100職種中	400 万円	1億7757 万円

年収分布図

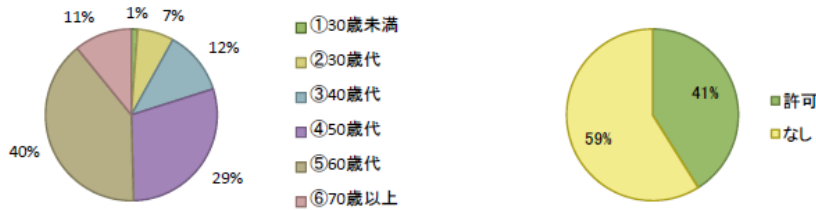


(4) 一人親方に関する調査結果（全建総連）

全建総連組合員のうち、大工・工務店を対象とした「住宅新築・リフォーム実態調査」の報告が2013年3月 全国建設労働組合総連合から出されている。

a.一人親方 年齢、建設業許可、法人化

従業員1名（一人親方）事業所は全体の42%で、平均年齢は、58歳となっており全国集計とほとんど変わらない。約6割が建設業許可を取得しておらず、法人化していない個人事業所がほとんどである。



(図1) 年齢

(図2) 許可



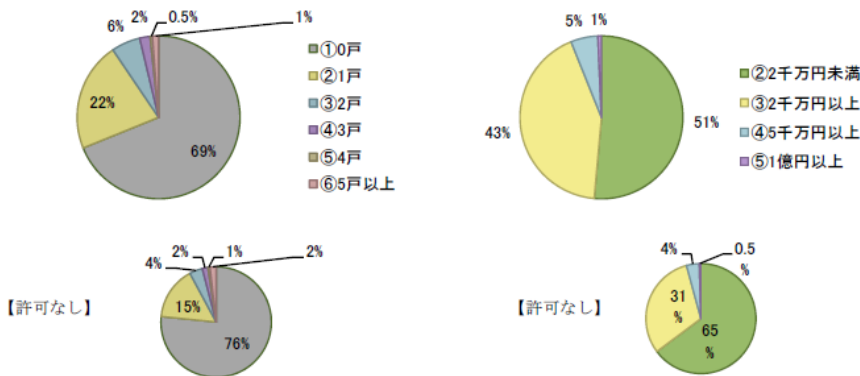
(図3) 組織

b.一人親方 新築元請の戸数、金額

従業員1名（一人親方）事業所の約7割が年間の新築元請戸数がゼロであり、1戸が約2割である。最大は年間20戸であった。

従業員1名（一人親方）事業所（n=2,419）を母数とした場合、平均戸数は年0.36戸、平均金額は1,767万円/戸となった。

平均戸数は、全国集計の4割以下だが、平均金額は全国集計と大きな差は無い。許可が無い場合、新築元請がある割合が減少し、新築元請の年間売上高が2千万円未満の割合が増加する。



(図1) 新築元請戸数

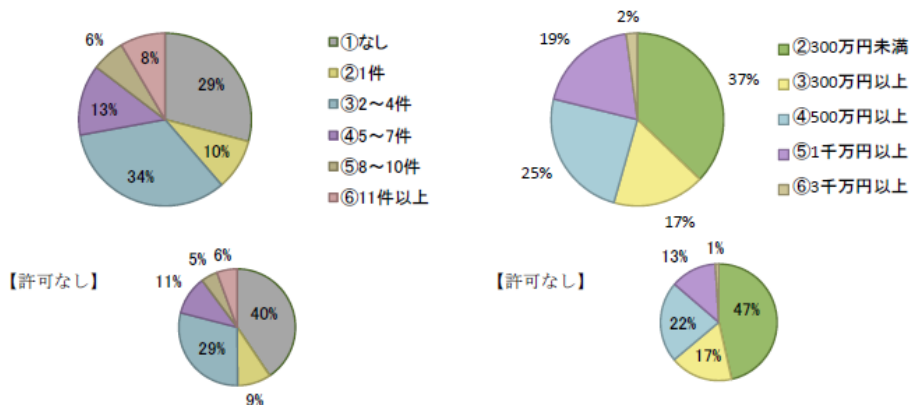
(図2) 新築元請金額（年間合計）※2億円以上なし

c.一人親方 リフォーム元請の件数、金額

従業員1名（一人親方）事業所の34%が、リフォーム元請件数が年間2～4件であり、29%がゼロである。（図1）

従業員1名（一人親方）事業所（n=2,419）を母数とした場合、平均件数は年3.38件、平均金額は136万円/件となった。平均金額は全国集計より45万円減となった。

一人親方の7割を占めている許可が無い回答者に限定すると、元請工事が減少し、リフォーム元請の金額は300万円未満が約5割となる。（図2）

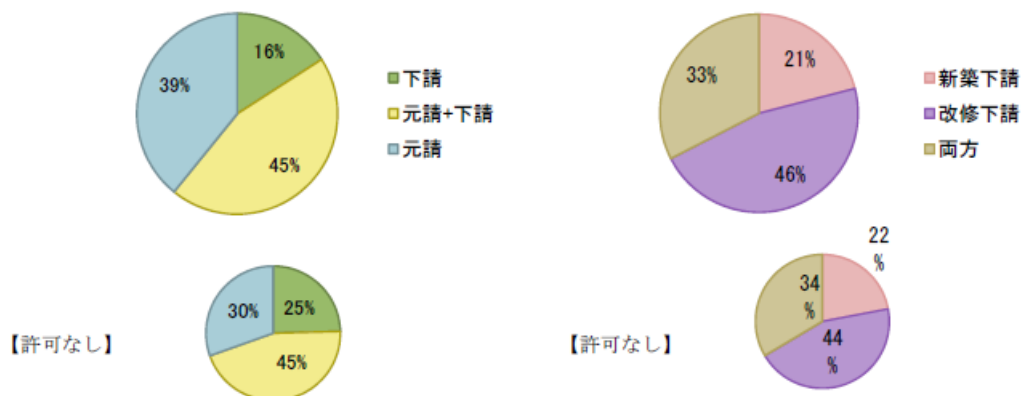


(図1) リフォーム元請件数

(図2) リフォーム元請金額（年間合計）

d.一人親方 下請の状況

何らかの下請を行っている一人親方は約6割で、全国集計と同様だが、「下請」のみの割合が増加している。（図1）許可が無い一人親方は、「下請」の割合がさらに増加した。下請工事の種類は、全国集計とほぼ同様の割合である。（図2）

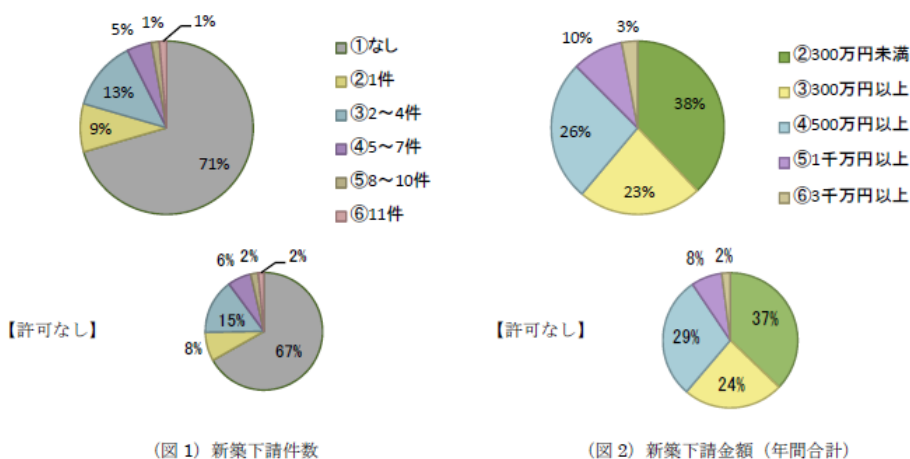


(図1) 下請の状況

(図2) 下請工事の種類

e.一人親方 新築の下請件数、金額

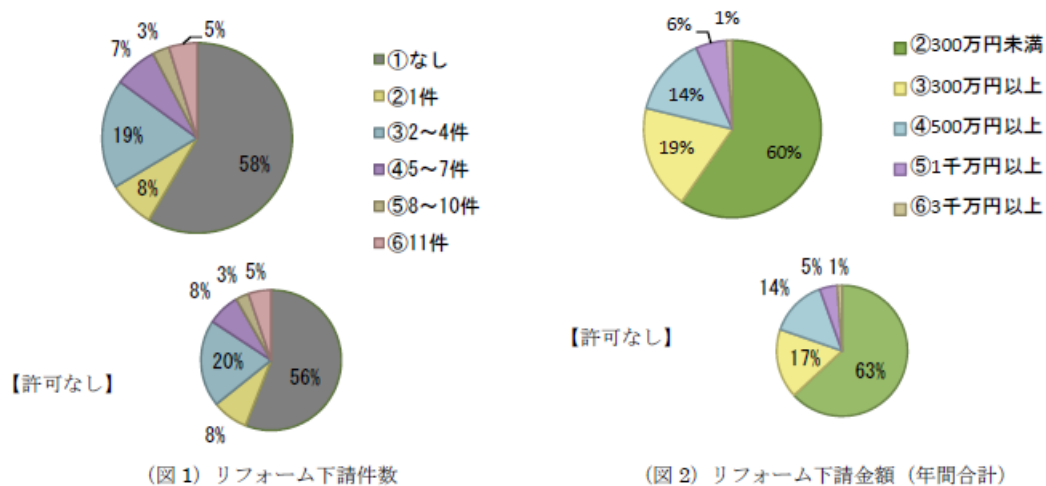
一人親方の約7割が新築の下請工事を請け負っていない。（図1）従業員1名（一人親方）事業所（n=2,419）を母数とした場合、平均件数は1件であり、全国集計より0.21件少ない。年間の金額は300万円未満が約4割で、平均金額は165万円/件となり、全国集計より45万円/件少ない。許可が無い一人親方は、141万円/件、許可ありの場合は229万円/件となった。



(図 2) 新築下請金額 (年間合計)

f.一人親方 リフォームの下請件数と金額

一人親方の約 6 割がリフォームの下請工事を請け負っていない。(図 1) 従業員 1 名 (一人親方) 事業所 (n=2,419) を母数とした場合、平均件数は 1.83 件であり、全国集計より約 3 件少ない。年間の請負金額は 300 万円未満が 6 割で、平均金額は 87 万円/件となり、全国集計より約 30 万円/件少ない。許可が無い場合は、81 万円/件、許可ありの場合は 96 万円/件となった。

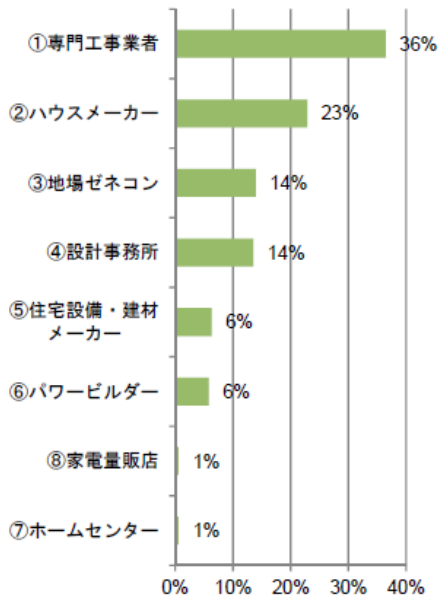


(図 2) リフォーム下請金額 (年間合計)

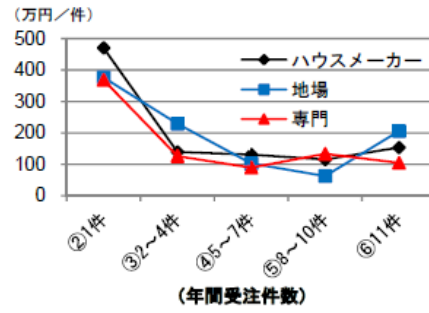
g.一人親方 下請の発注者

下請工事の発注者は、全国集計と同様、専門工事業者が最も多く、次いでハウスメーカーからの発注が多いという結果になった。

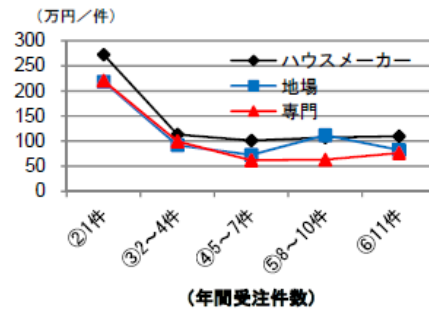
上位の発注者である専門工事業者、ハウスメーカー、地場ゼネコンごとに、平均金額をみると、新築では 500 万円/件以下 (図 2)、リフォームでは 250 万円/件以下となっている。(図 3) 年間 2~10 件程度受注する場合、新築・リフォームとも 100 万円/件程度の金額となっている。



(図1) 下請工事の発注者



(図2) 新築



(図3) リフォーム

(5) 建設埼玉の賃金実態アンケート調査結果

建設埼玉が平成 25 年 10 月 31 日にまとめた「平成 25 年建設埼玉賃金実態アンケート」は、組合員のうち回答のあった 3303 人の賃金実態を集計したものである。

賃金アンケート（労働者・職人回答より）

① 常用

年齢	大工職		各職	
	賃金(円)	昨年の年収(円)	賃金(円)	昨年の年収(円)
～ 19			8,580	3,000,000
20 ～ 24	8,500	2,000,000	9,071	2,600,000
25 ～ 29	12,550	3,100,000	11,769	3,061,538
30 ～ 34	13,454	3,660,625	13,291	3,660,000
35 ～ 39	15,591	4,103,500	14,051	3,883,448
40 ～ 44	15,377	4,223,529	14,314	4,041,765
45 ～ 49	14,109	3,866,667	15,646	3,662,174
50 ～ 54	14,000	3,450,000	14,754	3,635,714
55 ～ 59	15,714	4,021,429	13,895	2,966,667
60 ～	14,527	3,415,053	13,478	2,995,849
平均	14,577	3,662,689	13,756	3,451,971

② 手間請け

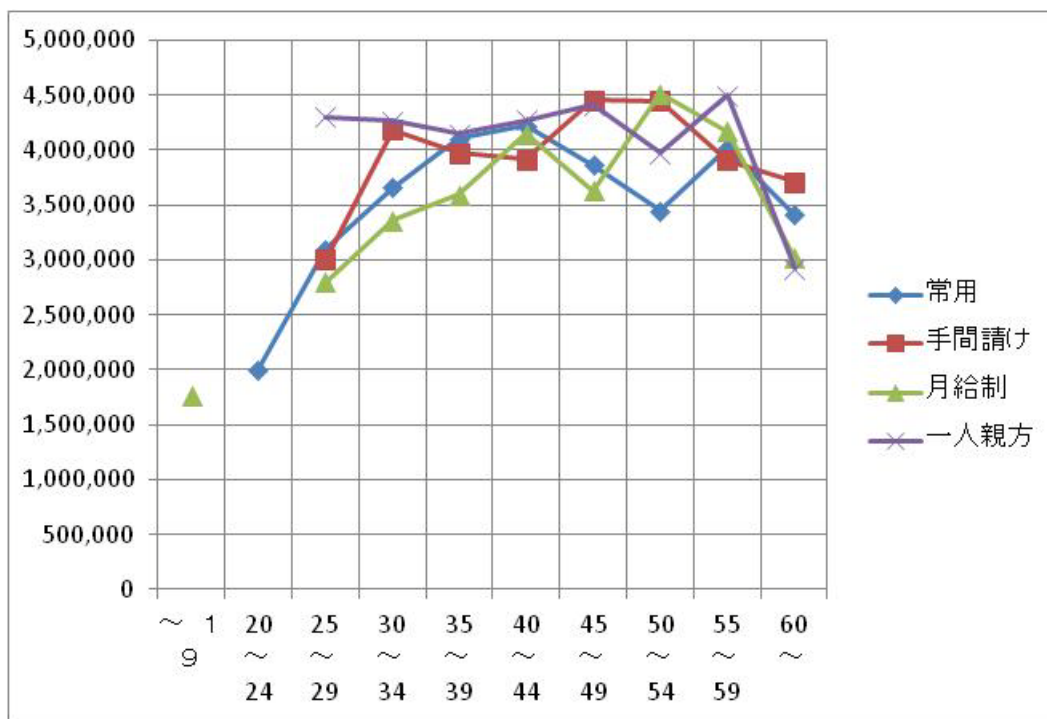
年齢	大工職		各職	
	賃金(円)	昨年の年収(円)	賃金(円)	昨年の年収(円)
～ 19				
20 ～ 24				
25 ～ 29	10,714	3,000,000	14,333	3,700,000
30 ～ 34	19,000	4,185,714	16,650	4,560,000
35 ～ 39	18,273	3,973,636	19,000	5,442,857
40 ～ 44	16,383	3,918,889	18,125	4,175,000
45 ～ 49	15,286	4,455,556	17,417	4,066,667
50 ～ 54	16,800	4,450,000	15,625	3,964,286
55 ～ 59	14,040	3,909,091	13,250	3,000,000
60 ～	14,773	3,711,563	15,059	3,776,333
平均	15,943	3,968,889	16,384	4,164,433

③ 月給制

年齢	大工職		各職	
	賃金(円)	昨年の年収(円)	賃金(円)	昨年の年収(円)
～ 19	152,500	1,770,000	80,000	1,200,000
20 ～ 24	200,000		215,714	2,576,154
25 ～ 29	225,000	2,800,000	266,500	3,099,091
30 ～ 34	269,636	3,360,833	283,075	3,556,190
35 ～ 39	260,200	3,597,000	289,462	3,639,292
40 ～ 44	347,500	4,148,235	328,407	4,248,800
45 ～ 49	270,636	3,628,333	335,216	4,088,750
50 ～ 54	360,000	4,514,286	365,943	4,774,653
55 ～ 59	373,750	4,172,000	340,204	4,263,810
60 ～	231,600	3,014,286	263,914	3,245,143
平均	293,114	3,663,023	304,051	3,825,769

④ 一人親方

年齢	大工職		各職	
	賃金(円)	昨年の年収(円)	賃金(円)	昨年の年収(円)
～ 19				
20 ～ 24			8,000	2,350,000
25 ～ 29	17,500	4,300,000	12,750	4,125,000
30 ～ 34	18,992	4,266,667	16,707	4,667,500
35 ～ 39	16,837	4,150,000	18,273	4,920,000
40 ～ 44	16,775	4,272,727	17,339	4,364,925
45 ～ 49	17,375	4,409,565	17,245	4,405,352
50 ～ 54	17,293	3,974,595	17,441	4,376,000
55 ～ 59	17,152	4,501,200	16,570	4,138,413
60 ～	15,202	2,925,971	15,123	3,073,810
平均	16,296	3,659,947	16,267	3,858,194



賃金アンケート（事業主回答より）

請負単価	大工職	各職
上がった	2.00%	1.50%
下がった	11.10%	12.00%
変わらない	87.00%	86.50%

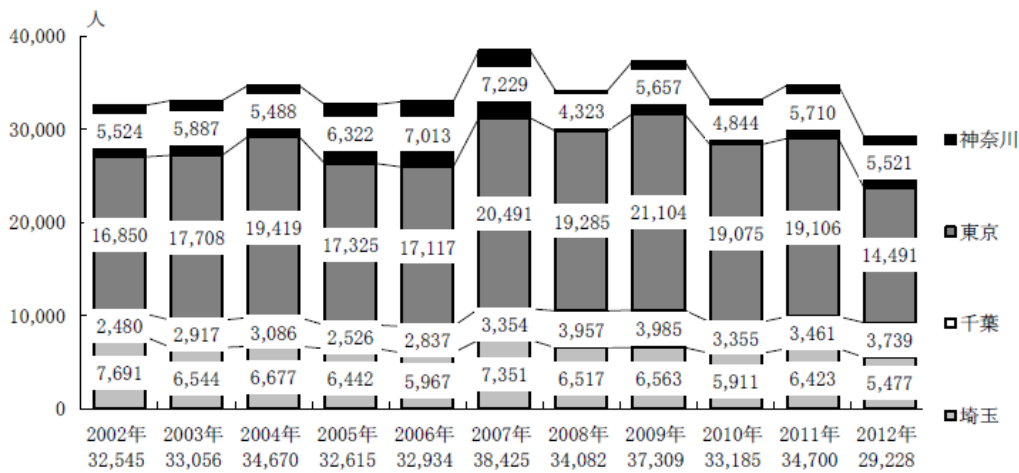
退職金制度	大工職	各職
ある	26.80%	33.40%
自社の制度	13.00%	16.70%
建退共制度	69.50%	58.30%
中退共制度	17.40%	25.00%
ない	73.20%	66.90%

(6) 首都圏 4 組合賃金実態調査 (2012年)

2012年に首都圏 4 組合 (神奈川、東京、千葉、埼玉) の賃金実態調査分析報告書が建設政策研究所から報告されている。

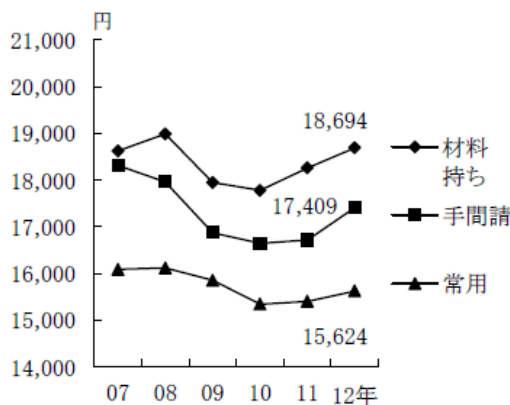
半径 100km ほどの圏内であるが、地域によって平均賃金が異なっていることが注目される。調査は 2001 年から実施されているが、4 組合の 25 歳～64 歳の年齢層合計による調査回答者数は、2002 年から 2006 年までは 3 万人台前半で推移し、2007 年は 38,425 人と 4 万人ちかくにのぼった。2008 年からは 3 万人台で増減を繰り返したが、2012 年は 29,228 人に減少し、調査開始以来はじめて 3 万人を割った。

<組合別、回答者数 (25～64 歳) の推移>



1) 「常用」「手間請」「材料持ち」の 1 日あたりの賃金

常用 15,624 円 手間請 17,409 円 材料持ち 18,694 円 首都圏 4 組合の 1 日あたりの平均賃金は、常用 15,624 円、手間請 17,409 円、材料持ち 18,694 円であった請負であっても、ここでは便宜上「賃金」とする)。2011 年に比べて常用は 223 円、手間請は 693 円、材料持ちは 433 円上昇した (材料持ちは元請・下請を含む)。東日本での復興工事による人手不足が被災地を中心に生じているが、このことが賃金の上昇に影響を及ぼしている可能性がある。

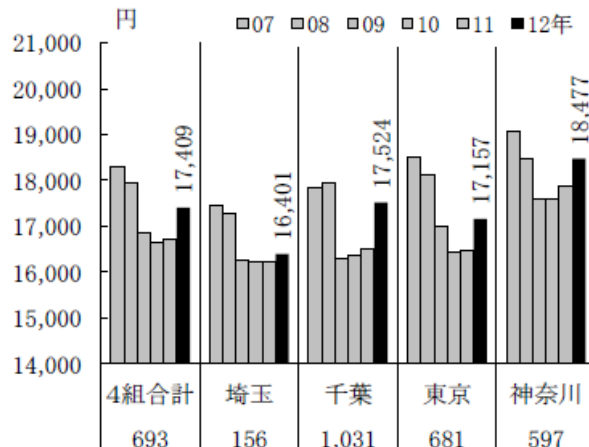
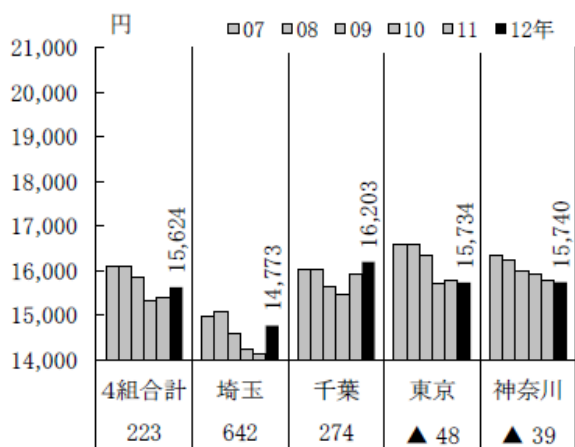


<4 組合平均賃金の推移>

組合別に「常用」・「手間請」・「材料持ち」の順にみると、埼玉は 14,773 円・16,401 円・17,122 円、千葉は 16,203 円・17,524 円・18,094 円、東京は 15,734 円・17,157 円・19,081 円、神奈川は 15,740 円・18,477 円・19,603 円であった。2011 年に比べて 2012 年は、千葉の材料持ち、東京の常用、神奈川の常用、材料持ちが減少し、それ以外は上昇した。なかでも、埼玉の常用、千葉の手間請、東京の手間請と材料持ち、神奈川の手間請が比較的に大きく増加した。

< 常用賃金 (25~64 歳、平均) >

< 手間請賃金 (25~64 歳、平均) >



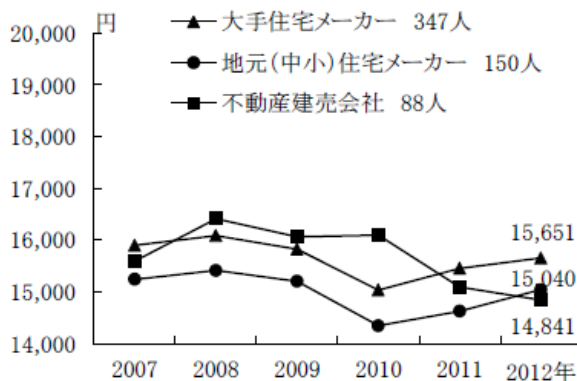
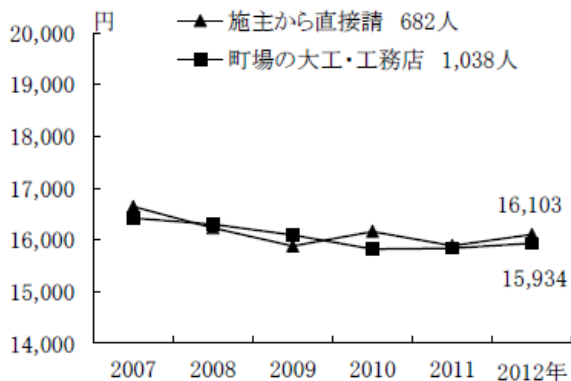
2) 仕事先別賃金

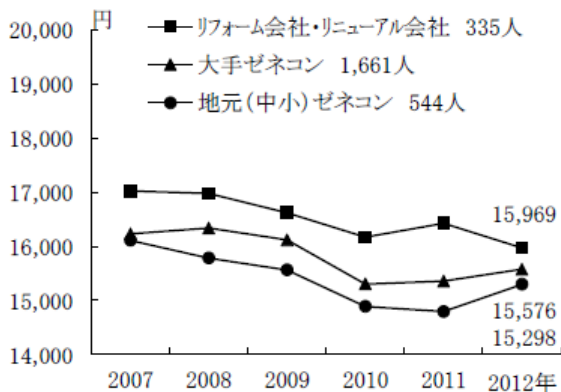
① 常用賃金

2012 年の 1 時間あたりの常用賃金で 2 千円を超える現場はなく、施主から直接請の現場が 1,938 円で最も高く、リニューアル・リフォーム会社 1,915 円、地元 (中小) ゼネコン 1,885 円と続いた。

他方、1 日あたりの賃金が最も低かったのは地元 (中小) 住宅メーカーの現場 1,733 円であった。1 日あたりの賃金が平均を下回り、かつ、労働時間が平均を上回ったことによる。低賃金・長時間労働がまだまだ続き、1 時間あたりの賃金水準は 1 日あたりの賃金水準を大きく下回る (平均賃金を 100.0 とすると、1 時間あたりは 92.1、1 日あたりは 96.3)。

< 仕事先別の常用賃金 (4 組合平均・2007 年~2012 年) >

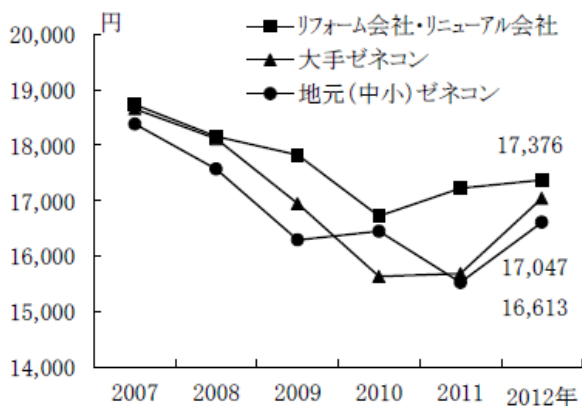
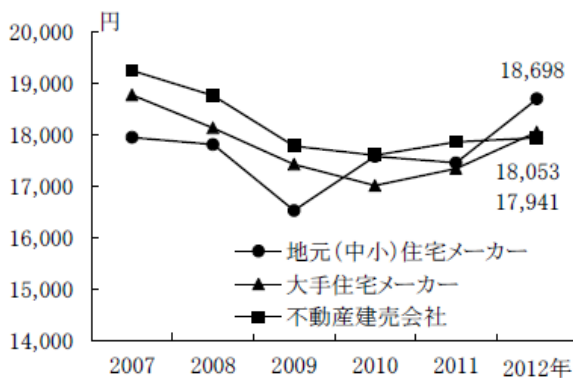
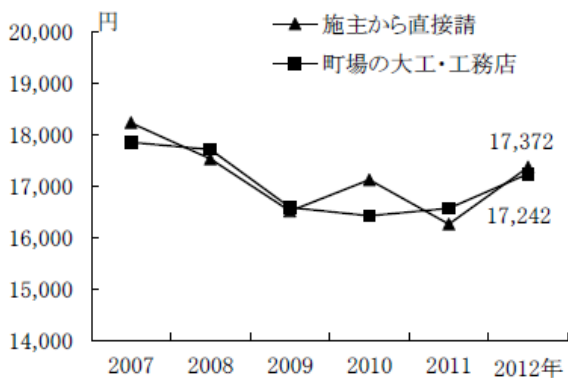




② 手間請

2012年の1時間あたりの手間請賃金は、リニューアル・リフォーム会社2,167円が最高で、2千円を超えたのは、大手ゼネコン2,153円、施主から直接請2,103円、地元(中小)住宅メーカー2,041円、町場の大工・工務店2,008円、最も低かったのは地元(中小)ゼネコン1,895円であった長時間労働の現場は、1日あたりに比べて1時間あたりの賃金水準は当然下がる。不動産建売会社(93.8)の現場はとくに顕著である。

<仕事先別の手間請賃金(4組合平均・2007年～2012年)>

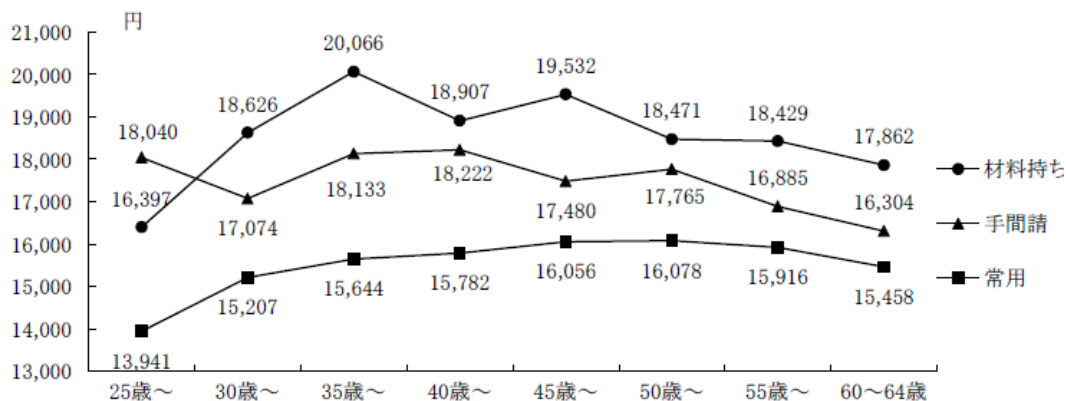


3) 年齢別賃金

2012年の年齢別の1ヶ月あたりの賃金は、常用は最高が45～49歳34万4,835円、最低が60～64歳30万2,984円、手間請は最高が25～29歳42万129円、最低が60～64歳32万8,139円、材料持ちは最高が35～39歳44万9,800円、最低が60～64歳33万4,940円であった。

常用、手間請、材料持ちともに加齢にともない賃金額は減少する傾向にあり、家族数の増加などによる家計費の増加に対応できない。常用は手間請、材料持ちに比べて賃金額の変動が小さく、最高額と最低額の差が小さい。また賃金額が最低となるのは常用、手間請、材料持ちともに60～64歳であるが、最高となる年齢は異なっており、手間請が他に比べてはやい。だが、いずれもピーク時以降は、低下の一途をほぼたどっている。

<年齢別、1ヶ月あたりの平均賃金(2012年・4組合平均)>



4) 自己負担

仕事にかかわる自己負担経費について、東京、千葉、神奈川の3組合で見ている。自己負担項目は、「作業・安全用品」「高速料金」「電車・バス代」「ガソリン・燃料代」「現場の駐車場代」「釘・金物代」である(神奈川は「釘・金物代」の項目はなし)。これら以外の、例えば、消耗材料代、工具・道具代、機械リース代や、社会保険料の事業主負担分や一人親方労災保険料などは、本調査では除外している。

<1ヶ月に自己負担している金額(2012年)>

単位：円

常用			手間請・材料持ち		
	金額	対11年		金額	対11年
ガソリン・燃料代	16,855	▲503	ガソリン・燃料代	23,828	1,580
電車・バス代	10,382	▲2,816	釘・金物代	23,582	▲773
高速料金	10,116	▲1,825	現場の駐車場代	13,271	▲78
現場の駐車場代	9,628	▲2,866	高速料金	12,654	▲536
釘・金物代	9,582	▲1,010	作業・安全用品	9,220	181
作業・安全用品	8,221	▲310	電車・バス代	7,816	▲1,509

(7) SAREX工務店の常備大工の賃金と手取り調査

大工の育成および定着のための雇用形態実態の調査を行った。調査は大工の雇用と定着の実際をヒアリングすると共に、全国に存在する当協同組合メンバーにアンケート調査を実施し、定着大工の共通項を明快にしようとした。

しかし工務店に対しての調査は、有効な回答が少なかった。前述した建設埼玉や全建総連は、組合員の大工に直接アンケート調査を行っている。今回の調査で、工務店は常備大工の賃金と経費等の詳細について、ほとんど把握していないことがわかった。

将来の大工の育成および定着にとって、むしろ大工の賃金と手取りに関して、理解がなくても事業ができる状況自体が問題である。これについては3) でより詳細に検討することにする。

1) 常備大工の賃金と経費等

		常備大工
(1) 収入		
	1日あたり (円) (現況)	15,500～20,000 円
	(希望)	19,000～35,000 円
	稼働日数 (日)	23～25 日
	1ヶ月の収入	372,000～500,000 円
(2) 社会保険・税金など控除		
	建設国保	10,000～35,300 円
	国民年金	13,680～30,760 円
	(厚生年金の場合)	(32,395～50,000 円)
	一人親方労災 (月当)	2,000～5,880 円
	住民税	6,900～30,000 円
	組合費	2,300～25,000 円
	組合積立金	2,000～20,000 円
	小計	48,460～119,000 円
(3) 手取額		
	通常の手取額	307,085～464,293 円
(4) 車両工具等申告経費		
	車 両 等	0～50,000 円
	車検・保険・ガソリン	0～62,000 円
	工具・道具代	1,000～75,000 円
	携帯電話	0～16,000 円
(5) 申告所得税		
	申告所得税 (月当)	0～30,000 円
(6) 手取り年収		
	手取り年収 (申告経費控除後)	2,701,020～5,466,000 円

2) 社員大工の賃金と経費等

		技能育成期	安定発揮期
(1) 収入			
	出勤日数 (日)	24～25 日	21～25 日
	1ヶ月の収入	175,000～235,200 円	355,000～491,300 円
(2) 社会保険・税金など控除			
	健康保険 (会社負担)		5,500～14,150 円
	厚生年金 (会社負担)		17,120～35,096 円
	健康保険 (自己負担)		5,500～14,150 円
	厚生年金 (自己負担)		17,120～35,096 円
	雇用保険 (自己負担)		934～2,574 円
	組合費		2,900 円
	所得税		2,640～11,450 円
	住民税		4,900～18,300 円
	小計 (自己負担)		33,994～84,470 円
(4) 現場手当			
	工具等の損料補填 (年)		150,000～410,000 円
(5) 手取り年収			
	手取り年収		3,738,360～5,292,160 円

3) 工務店と常備大工との関係

工務店と常備大工とは、単に経済活動という面から見れば、顧客から木造住宅を受注し、設計し施工する企業と、その木工事の部分を下請けする自営業者としての常備大工といったことになる。顧客から木造住宅を受注には、波がありとくに1年の間でも極めて忙しい時期と、けっこう暇な時期とがある。

下請けする自営業者としての大工は、元請企業である工務店から仕事来なければ、仕事がない。常備大工と手間請け大工との違いは、必ずしも間断なく一つの工務店から仕事くるかどうかである。元請企業である工務店は、契約関係にはないが、伝統的な暗黙の了解として、常備大工には、間断なく仕事ができるよう配慮している。

いっぽう工務店が使う手間請け大工は、あくまでも常備大工ではこなせない程、仕事が集中した時期や遠隔地の現場での仕事である。労働者としての手間請け大工の市場では、優秀な大工は賃金が高く、手が遅く、出来も良くない大工は、当然賃金が安い。しかしあくまでも自己申告なので申し出た日当が高いといっても優秀であるとは限らない。

工務店は、常備大工と同程度か、それよりはやや高い賃金の手間請け大工に発注することになる。その手間請け大工の仕事の結果が、工務店にとって満足なものになることはほとんどない。良くて合格すれすれということになる。

しかも現場監督の手間は大変なものである。工務店の住宅についての仕上がり像は、図面などで成文化されたものではなく、そのほとんどが暗黙知の世界である。常備大工にはこの暗黙知は、以心伝心といったコミュニケーション経路で伝わる。初めて使う手間請け大工には、この暗黙知の世界は伝わらな

い。

さらに多くの場合、常備大工にはわかっているこの暗黙知は、現場監督には理解されていないといったことになる。まだそうした工務店は聞いたことはないが、常備大工を時々現場に派遣して、手間請け大工にこまごました指示を与えるといった、プレイング・マネジャー的業務をやってもらうのも、手間請け大工の現場での工務店施工品質確保の一つの選択肢である。

工務店もこうした暗黙知の世界を共有する常備大工との関係は、よく理解しており、安全大会などを通じて、さらにその共有化をより深いものに行っている。